

# 令和2年度宇宙関係概算要求等について

令和元年10月9日  
防 衛 省

# 安全保障分野における宇宙空間の利用

宇宙空間は国境の概念がなく、人工衛星を活用すれば、地球上のあらゆる地域の情報収集や通信、測位などが可能となるため、**安全保障の基盤として死活的に重要な役割**を果たしており、**各国は宇宙空間を軍事作戦の基盤として利用**

## 【早期警戒衛星】

DSP・SBIRS（米）など

- ・ 弾道ミサイル発射の早期探知に利用

## 【通信衛星】

Xバンド防衛通信衛星（日）、WGS（米）など

- ・ 遠距離に所在する部隊との通信

静止軌道  
高度約36,000km  
(地球に対して静止)

中高度周回軌道  
高度約20,000km

【気象衛星】ひまわり（日）など  
・ 気象状況の把握・予測に利用

## 【測位衛星】

GPS（米）、準天頂衛星（日）、北斗（中）など

- ・ 正確な場所の把握、ミサイル等の誘導に利用
- ・ システムの時刻同期に利用

## 【画像収集衛星】

情報収集衛星（日）、  
商用衛星（含超小型衛星）など  
・ 警戒監視、情報収集に使用

低高度周回軌道  
高度～1,000km

高度100km  
(一般的な例としての境界線)